

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームふくずみ

(ユニット名) グループホームふくずみ

記入者(管理者)

氏名 大久 朱実

評価完了日 平成 19年 6月 7日

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年8月23日

【評価実施概要】

事業所番号	3870104514		
法人名	医療法人慈孝会		
事業所名	グループホームふくずみ		
所在地	松山市福角町甲616-1	(電話) 089-911-8700	
管理者	大久朱実		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年6月28日	評価確定日	平成19年8月23日

【情報提供票より】 (平成19年6月1日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成16年12月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	4人, 非常勤 4人, 常勤換算 8.0人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	350 円	昼食 350 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 1,100 円		
(3) 利用者の概要 (平成19年6月1日現在)			
利用者人数	9 名	男性 4 名	女性 5 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名
要介護3	4 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 81.4 歳	最低 65 歳	最高 94 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>5月の運営推進会議時には、区長・民生委員の方等、出席者全員で夜間を想定した避難訓練を実施された。車イスや歩行器利用者の避難に時間がかかることが分かり、職員間でさらなる話し合いが行われている。7月の地区自主防災訓練に、職員2名が参加される予定となっていた。</p> <p>一汁三菜とヨーグルト・フルーツを採り入れたメニュー作りに心がけられ、摂取量を記録されていた。食後、おやつ時、夜間にも水分が摂れるよう、好みの飲み物を選んでいただく等、個々に水分確保ができるよう工夫がされていた。</p>
---

【質向上への取組状況】

<p><b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の評価結果を受けて、玄関に職員手作りの表札を設置されていた。</li> </ul>
<p><b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価は、2回に分け職員全員で取り組まれた。職員の気付きや考えさせられる点を見い出せ、職員一人ひとりの意識が高まった。</li> </ul>
<p><b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議時、事業所の年間計画や研修について報告をされた。5月には、出席者全員で避難訓練を実施された。又、地区の区長から地域とのかかわりについてアドバイスをいただき、意見交換がなされた。</li> </ul>
<p><b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度より家族会を発足し、これまでに2回開催されている。その際、ご家族より、「日々の中で字の練習や歩行練習についても取り組んで欲しい」という要望が出された。事業所では、大学ノートを準備し、支援をされ、ご家族の来訪時に見ていただく等されている。又、フットマッサージを行い、歩行練習等もされている。</li> </ul>
<p><b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の隣りに地区の集会所がある。地元の職員の情報を得て、地域との接点を持つ努力をされている。事業所は、町内会に加入されており、地区会や地域行事に参加されている。又、老人会に加入されている利用者もおられる。</li> </ul>

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			その人らしさ、一人一人を大切にして地域との交流を実施していく理念を作っている。		
			(外部評価)		
			事業所の理念とともに、「地域に解け込み、地域に根ざすグループホーム造りに努める」という行動指針を挙げ、日々取り組まれている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			日々のケア、ミーティングの中で共有し、実践に向けて取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			朝の申し送り時、月2回のミーティング時に理念を復唱し、理念の実践に向けて取り組まれている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族会・食事会・地区会などで、理解してもらえるよう努めている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日常的に散歩や買い物などに出かけ近隣の人たちと挨拶を交わしたり、話をしたりしている。事業所の開設記念や他の行事を案内し、日常的なつきあいができるように努めている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 初詣・祭り・運動会・文化祭・地区会等参加したり、保育園児との交流を持っている。  (外部評価) 事業所の隣りに地区の集会所がある。地元の職員の情報を得て、地域との接点を持つ努力をされている。事業所は、町内会に加入されており、地区会や地域行事に参加されている。又、老人会に加入されている利用者もおられる。		今後も、地域の方達とかかわるような機会を増やし、交流を深めていかれることが期待される。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 人材育成として実習生の受け入れを積極的に行っている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価を全員で行い、サービスの質の向上に努めている。外部評価の結果はミーティングで報告し、改善に向けて、具体案の検討や実践に繋げるための努力をしている。  (外部評価) 自己評価は、2回に分け職員全員で取り組まれた。職員の気付きや考えさせられる点を見い出せ、職員一人ひとりの意識が高まった。前回の評価結果を受けて、玄関に職員手作りの表札を設置されていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議で取り上げられた内容を報告し、話し合いサービス向上に活かしている。		
			(外部評価)		
			会議時、事業所の年間計画や研修について報告をされた。5月には、出席者全員で避難訓練を実施された。又、地区の区長から地域とのかかわりについてアドバイスをいただき、意見交換がなされた。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			研修等に参加してサービスの質の向上に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			運営推進会議時、市の担当者からケアについてアドバイスをいただいた。又、市主催の研修会へ参加されている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			研修に参加して理解を深めている。将来的には対応を必要と思われる利用者には、随時説明アドバイスを行っている。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			日々のケア、ミーティングの中で取り上げ、見過されることがないように、注意を払い防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には、理念、利用料金、起こりうるリスク、重度化や見取り、退去等を含めた事業所の対応について説明している。利用者の状態変化により契約解除に至る場合は、本人を交えて、家族等と対応方針を相談している。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の言葉や態度からその思いを察する努力をし利用者中心の運営を心がけている。その時々利用者の不安、意見等は日常記録や伝達簿にて職員全体が把握し、日々のケアに活かしている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 面会時には声をかけ利用者の状況や、家族のことについて話し合っている。心身の状況について何らかの変化や問題が起きた時にかならず報告している。金銭管理は出納帳に記入しサインを頂いている。 (外部評価) ほとんどのご家族は、近くにお住まいの方であり、月に何度か来訪されている。日常のご本人の様子について、ご家族は、よく理解されている。外出時の様子については、写真を見ていただく等されている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 何でも言ってもらえるような雰囲気作りに類し、出された意見要望等はミーティングで話し合い、反映させている。意見箱を設置している。 (外部評価) 昨年度より家族会を発足し、これまでに2回開催されている。その際、ご家族より、「日々の中で字の練習や歩行練習についても取り組んで欲しい」という要望が出された。事業所では、大学ノートを準備し、支援をされ、ご家族の来訪時に見ていただく等されている。又、フットマッサージを行い歩行練習等もされている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営者、管理者は常に職員の要望や意見を聞くように心がけたり、個別面談も行っているが把握しきれていない部分もある。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の自由な暮らしを出来る限り支えられるよう、利用者の状況やペースに合わせたローテーションを組んでいる。必要に応じて柔軟に職員の配置も考えている。急病や急な休みの時に応援してくれる人員確保は出来難く、支援においても余裕がほしい。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 基本的には職員を固定化し、顔なじみの職員によるケアに努めている。新しい職員が入る場合もきちんと紹介、混乱しないように工夫をしている。		
			(外部評価) 管理者は、職員一人ひとりが責任を持って日々のケアを行えるように指導されている。これまでに、職員の異動や離職は少ない。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修には順番に参加できるようにしており、研修報告や伝達を行ない全職員が閲覧できるようにしている。		
			(外部評価) 法人内の研修や外部研修を受講されている。最近では、個人情報の取り扱いについての研修等に参加され、知識を深められた。研修内容は、月2回のミーティング時に周知されている。		職員は、研修を通してさらに、知識を広げたいと希望されていた。研修受講の年間計画を立てる等、職員のスキルアップで、さらに事業所の質向上に取り組まれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			関連の事業所や研修施設等と情報の交換や交流を持つことによりサービスの質の向上を目指している。		
			(外部評価)		
			毎月ある法人内の連絡会議に参加し、情報交換を行っておられる。現在は、地域の他事業所と交流する機会は少ない。		貴事業所のさらなる質の向上に向けて、地域の中の他事業所とのネットワーク作りや相互訪問の機会作り等についても検討されてみてはどうだろうか。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			出来る限り職員の声を聴くようにしているが、休憩の時間や居場所の確保が困難で、ストレスが溜まりやすい。		職員の声を聴き、ストレスにならないよう把握しながら努めていく。他のグループホームや事業所との交流や親睦の場を作り、気分転換を図れる機会を作る。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			出来る限りいろいろな声を聞くようにしているが現場の細かな状況や変化までは把握し難い。		職員が向上心を持てる職場環境を整えることが勤務の継続につながる。結果的に利用者への質の高いケア提供が出来ることになる為、職員の日頃の状況を具体的に把握し、それらをもとに向上心を持って働けるよう、配慮や対応をしていく。
<p><b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			事前面談で生活状態を把握するよう努め、ご本人や家族の求めていることや不安を理解し、思いを受け止め、安心してもらうよう関係作りに努めている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ご家族が求めていることを理解し、状況を把握することによって、事業所としてどのような対応が出来るか事前に話し合いをしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時、本人や家族の思い、状況等を確認し、改善に向けた支援の提案、相談を受ける中で、信頼関係を築きながら必要なサービスにつなげるようにしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人や家族が事業所を見学してもらうことから始め、職員や他の利用者、サービスの場に徐々になじみ、安心して納得しながらサービスの利用が出来るよう工夫をしている。 (外部評価) 利用予定者に事業所を見学していただいたり、一緒に過ごしてもらい、ご家族等とも十分に話し合いを行っておられる。又、併設デイサービス利用者が見学に来られることもある。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、利用者に教えてもらう場面が持てるようセッティングや工夫や声かけに配慮している。本人の思いや根本にある苦しみ、不安、喜びなどを知ることにも努め、分かち合い共に支えあう関係作りに努めている。 (外部評価) 夜間、さみしく寝つかれない時には、温かい飲み物を飲みながら過ごされたり、職員が添い寝をされることもある。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者の様子や職員の思いをきめ細かく伝えることで、本人を支えていく協力関係ができつつある。家族面会時本人・スタッフを交えて楽しい一時をもてる場面設定を心がけている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族、本人の思いや状況を見極めながら、外出や面会等で、家族と一緒に過ごすことを勧めたり、行事に家族を誘ったりしながらよりよい関係の継続につとめている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) なじみの地域にドライブや散歩、買い物、墓参りに行ったり、友人の面会や電話連絡等により継続的な交流が出来るよう働きかけている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 個別に話を聴いたり、相談に乗ったり、みんなと楽しく過ごす時間や、場面作りをするなど、利用者同士の関係が、うまくいくように努めている。また、心身の状態や気分、感情を注意深く見守るようにしている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) サービス利用が終了された方や、家族も行事に招待したり、遊びに来てもらうなど継続的なつきあいが出来るよう心掛けている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日々の関わりの中で声かけ把握に努めている。言葉や表情などからその真意を推し測ったり、確認するようにしている。意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者との日々のコミュニケーションからご本人の思いや意向の把握に努めておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			利用後も折に触れ、ご本人やご家族にどんな生活をされていたのか聞いたり、ご本人の語りや生活習慣から、これまでの暮らしの把握に努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			一人一人の生活リズムを理解すると共に、身体、心理面の視点で、できることできないことに注目し、小さな行動からでも感じ取り、その人の全体像の把握に努めている。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			ご本人やご家族には日頃の関わりの中で、思いや意見を聞き反映させるようにしている。アセスメントを含め職員全員で意見交換、モニタリング、カンファレンスを行い介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			介護計画に、ご本人、ご家族の思いや希望が記入されており、計画に反映できるよう努めておられる。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			ご家族やご本人の要望を取り入れつつ、介護計画の期間に応じて見直しを行い、状態が変化した際には、終了する前であっても検討見直しを行っている。		
			(外部評価)		
			3カ月ごとに介護計画の見直しを行い、ご家族来訪時、ご本人の同席のもと説明がなされている。又、転倒や課題が発生したような場合には、その都度話し合い見直しがされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個別にファイルを用意し、介護計画に添って気づきやの状態変化を記録している。情報共有を徹底するために、伝達簿も活用し介護計画の見直しに活かしている。		より簡潔によりわかりやすい記録になるため勉強会を持つ。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人家族の状況にや要望に応じて、受診や入院の回避等、必要な支援は柔軟に対応し、個々の満足度を高めるよう努力している。		重度化した場合や終末期のケアに対応できるよう取り組んでいく。
			(外部評価)		
			ご家族が困難な場合は、職員が受診時の同行をされている。教会の礼拝に同行されたり、個々の希望に沿って柔軟に対応されている。併設サービスと行き来されている。		さらに、今後、ご本人・ご家族から希望があった訪問マッサージの受け入れを予定されていた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 利用者が安心して地域での暮らしが続けられるよう、地域との様々な接点を見だし、地域資源を活用している。(民生委員・文化・ボランティア・消防・教育機関等)		地域資源について情報を得、最大限活用する。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要に応じて、介護保険以外の生活支援サービスを受けられるよう努めている。		訪問マッサージ等検討中である。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加するようになり、アドバイスをもらっている。		将来、成年後見制度をを必要とする利用者のために助言をもらう。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人やご家族が希望するかかりつけ医になっている。また、受診や通院はご本人やご家族の希望に応じて対応している。訪問診療に来てもらうケースもあり、複数の医療機関と関係を密に結んでいる。 (外部評価) ご本人ご家族の希望で、事業所の協力医がかかりつけ医となっている。夜間、休日も対応可能で月1回の往診もある。専門医受診が必要な時は、紹介状を出していただき、適切な医療が受けられるよう支援されている。又、受診後には、ご家族にも結果を報告されている。		受診においては、ご家族の協力も得られるよう、働きかけている。
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 老人病院・精神科医等に相談して、指示・助言等もらっている。		困難な事例は認知症専門医を検討していく。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員を配置しており、常に利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行えるようにしている。看護職員がいない時間は介護職員の記録報告をもとに確実な連携を行っている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には、情報を医療機関に提供し、職員が見舞うようにしている。家族との情報交換しながら、回復状況等速やかな対応支援を行っている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末に対する看取りの指針を定め、事業所が対応しえる最大のケアに努めている。また、状態の変化があるごとに、家族の気持ちや変化や本人の思いに注意を払い支援に努めている。 (外部評価) 状態の変化時等には、重度化や終末期のあり方について、ご家族と話し合っておられる。終末期を事業所で迎えたい、というような希望が利用者ご家族から出ている。		ターミナルケアの勉強会をする。  さらに、今後も、重度化や終末期のあり方について、職員での意思統一とともに、ご本人にかかわる人たちとも繰り返し話し合っていけることが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人の気持ちを大切にしつつ、家族と話し合い、利用者が安心して、終末期を過ごしていけるよう検討している。急変した場合は、すぐ対応できるよう医療機関とも密に連携を図っている。		対応が困難なこと不安なことなどを職員全体で率直に話し合い、家族や医療機関関係者等と連携体制を作っていく。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 新しい住まいでも、これまでの暮らしの継続が損なわれないように、生活環境・支援の内容・注意が必要な点について、情報提供し、きめ細かい連携をこころがけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>勉強会やミーティングの折に職員の意識向上を図ると共に、日々の関わり方を点検し、利用者の誇りや、プライバシーを損ねないよう対応の徹底を図っている。</p>		
<p>(外部評価)</p>					
<p>個人情報についての研修を受講され、職員で知識を共有されていた。介護記録は、個人を尊重した記述への配慮がうかがえた。</p>					
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者に合わせて声をかけ意思表示が困難な方には、表情を汲み取ったり、些細なことでも本人が決める場面を作っている。(飲みたいもの・食べたいもの・するしない等)</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>基本的な1日の流れはもっているが一人一人の体調に配慮しながら、その日その時の本人の気持ちを尊重して、できるだけ柔軟に対応している。</p>		
<p>(外部評価)</p>					
<p>職員は、利用者の状態や食べるペースに合わせて、ゆっくりサポートされていた。居室でゆっくりされる方もおられ、利用者個々の体調や希望を尊重し、支援されている。</p> <p>職員は、利用者一人ひとりのしたいことを把握し、ご本人が「今日どのように過ごしたいのか」ということを探り、その人らしい生活ができる取り組みをさらに、すすめていきたいと考えておられた。</p>					

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 個々の生活習慣に合わせて支援し、おしゃれを楽しんでもらえるよう支援している。カットや毛染めは本人やご家族の希望に添ってホームで対応している。日々のケアの中で身だしなみにも注意を払っている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 調理・盛り付け・片付けなども利用者と共に行ない可能な限りスタッフも一緒に食事を楽しめるようにしている。利用者と一緒にとってきた畑の野菜を使うこともある。 (外部評価) 利用者は、もやしの根取りやタマネギの皮むき等、できることを職員と一緒にやっておられる。菜園の野菜等も採り入れ、旬の野菜を使ったメニュー作りにも心がけておられた。食欲を高めるよう盛り付けを工夫されていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 職員は一人一人の嗜好物を理解しており、本人の様子や時間を見ながら、それらを楽しめるように支援している。お酒の好きな利用者と一緒に散歩を兼ねて好みの酒を買いに行ったりする。		
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表を利用し、尿意のない利用者にも時間を見計らって誘導することによりトイレで排泄できるように支援している。ケースにより個別で工夫している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			職員が一方的に決めず、その日の希望を確認し入って頂いている。一人一人の状態やタイミングに合わせてくつろいだ気分で入浴を楽しんでいただいている。		
			(外部評価)		
			入浴は毎日でも可能で、利用者が、時間、曜日、回数等を決めておられる。入浴を嫌がられる方には、言葉かけや対応を工夫されている。足浴を楽しまれる方もおられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中の活動を検討し、生活のリズムを整えるよう努めている。眠ることだけに注目せず数日間の活動や出来事、本人の生活習慣などをスタッフで検討しながら総合的に支援している。必要に応じ眠剤も使用している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			マナー化しないよう注意を払い、得意分野で一人一人の力を発揮してもらえよう支援し、できたら感謝の言葉を伝えるようにしている。外出や地域の行事参加などの楽しみごとを利用者と相談しながら行っている。		
			(外部評価)		
			折り紙やちぎり絵を楽しむ方、パソコンを使用されている方、本・新聞を読む方もおられ、利用者一人ひとりの楽しみ事を把握し、支援されていた。		さらに、共同生活の良さを活かし、利用者同士で楽しむような機会や生活歴を活かした取り組み等、ご本人の意向等をうかがいながら、支援を拡げていかれることが期待される。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			できる範囲でお金を自分持ちで管理してもらっている。事業所が管理している人でも外出時には自分で払っていただけるようお金を手渡す工夫をしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			天気、本人の状態や希望に応じて、季節を肌で感じてもらい心身のリフレッシュにつながるよう散歩・買い物・ドライブ・お弁当を持って戸外に出かけている。		認知度・介護度が上がり、外出が少なくなりつつあるため、工夫をしていく。重度の利用者も外出が困難とみなさずに工夫をする。
			(外部評価)		
			その日の天候、利用者の状態や希望に合わせ、ドライブに出かけたり、月1度は観劇等や遠出をされている。ご家族、職員その他、ボランティアの協力も得られる。		利用者の状態によっては、外出時に玄関の段差等が障害となる場合もあるようだ。さらに、利用者が外出しなくなるような雰囲気作りについても、職員で話し合ってみてはどうだろうか。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			本人が行きたいと思う遠くの場所への外出については、職員の勤務を調整する等しながら、可能な限り家族の協力も依頼して支援している。		認知度・介護度が上がり、外出が少なくなりつつあるため、工夫をしていく。重度の利用者も外出が困難とみなさずに工夫をする。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者の希望に応じて、日常的に電話を出れるよう支援している。手紙においても、出来る限り希望に添えるよう支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問時間などは定めておらず、ご家族の都合のいい時間帯に、いつでも訪ねてきていただけるよう配慮している。職員は常に笑顔で心がけ、湯茶等の用意もし、気軽に来やすい雰囲気作り心がけている。		スペースが限られているため、居心地のよい空間作りの工夫をする。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) ミーティングや日々の申し送りなどでその日のケアを振り返り、自覚しない身体拘束を行っていないか等を点検している。		勉強会を随時していく。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 一人一人のその日の気分や状態をきめ細かく観察し、日中は鍵を掛けずに自由な暮らしを支援している。外出しそうな様子を察知したら、できるだけ話を聞いたり、必要に応じて一緒について行くなど、安全に配慮している。		
			(外部評価) 玄関は日中鍵をかけず、見守り支援されている。勝手口には、戸の開閉時に鈴がなるようになっていた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員はできる限り、利用者と同じ空間で共に過ごし、さりげなく全員の状況を把握するように努めている。夜間は、数時間毎に利用者の様子を確認すると共に、起きられたときにすぐに対応できるよう居場所にも工夫をしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 全てを取り除く様なことはせず、利用者の状況、変化によっては、注意を促していくなど、ケースに応じた対応をしている。安全だけを重視するのではなく、(馴染みの物等においては)本人の思いを受け止め、最善なる対応を心掛けている。		現状で満足せず、常に状況を的確に把握しながら最善を検討していく。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人一人の状態から予測される危険を検討し、事故を未然に防ぐための工夫をしている。またヒヤリハットを記録し、職員の共有意識を図っている。万が一の事故が発生した場合には、速やかに事故報告書を作成し、事故原因の今後の予防対策について検討し、家族への説明と報告をおこなっている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 消防署の協力を得て、救急手当や蘇生術の研修を実施し、全ての職員が対応できるようにしている。緊急時対応についてのマニュアルを整備している。		定期的に訓練し周知徹底をしていく。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) マニュアルを作成しており、地域の協力体制については地区会をお願いしたり、運営推進会議で協力を呼びかけている。年2回消防署の協力を得て、避難訓練、消火器の使い方等の訓練を行っている。 (外部評価) 年2回、消防署の協力を得て避難訓練・消火器の使い方等の訓練を行っておられ、5月の運営推進会議時には、区長・民生委員の方等、出席者全員で夜間を想定した避難訓練を実施された。		地区会で具体的に協力をお願いする。 避難訓練を実施し、車イスや歩行器利用者の避難に時間がかかることが分かり、職員間でさらなる話し合いが行われている。7月の地区自主防災訓練に、職員2名が参加される予定となっていた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 起こりうるリスクについて、個別的・定期的な見直しを行っている。ご家族に対しては、自由な暮らしの大切さと、事業所の取り組みを丁寧に説明し理解を得られるよう努めている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 普段から体調や些細な表情の変化も見逃さないよう、早期発見に努めている。食欲や顔色、様子などの変化が見られたときは、バイタルチェックを行い状況により、医者の指示を受けている。情報を伝達簿にも記録し、共有に努めている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬マニュアルの作成や、処方箋のコピーをケース毎に整理し、職員が内容を把握できるようにしている。処方や用量が変更の場合は、伝達をし症状の変化を把握するよう努めている。		ケース毎の処方内容をさらに分かりやすいものに整備する。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 繊維質の多い食材や、乳製品を取り入れたり水分補給に心掛けている。また、身体を動かす機会を設けてできるだけ自然排便できるようにしている。必要時下剤や浣腸を利用し、便秘にならないよう努めている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の歯みがき等の声かけをし、職員が見守ったり、介助を行って行っている。就寝前は、義歯をはずし洗浄を行っている。(ポリドント週2回使用)		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事摂取状況を毎日チェック記録し職員が情報を共有している。食べる量・栄養バランス・水分不足が起こらないよう職員全員が意識を持ち、取り組んでいる。		必要な利用者の水分チェック状況が把握できるよう工夫する。
			(外部評価) 一汁三菜とヨーグルト・フルーツを採り入れたメニュー作りに心がけられ、摂取量を記録されていた。食後、おやつ時、夜間にも水分が摂れるよう、好みの飲み物を選んでいただく等、個々に水分確保ができるよう工夫をされていた。		利用者の中には、水分を摂り難いような方もおられるようであり、水分摂取についてのさらなるアイデアや工夫が期待される。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 起こりえる感染症に対して、マニュアルを作成し、早期発見・早期対応に努めている。また、利用者及びご家族に同意を頂き職員とともにインフルエンザ予防接種を受けている。ペーパータオルを使用するなど、予防も徹底している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板は毎晩漂白、ふきんは煮沸消毒、冷蔵庫は点検、清掃、食材の残りは鮮度や状態を確認し、冷凍したり処分したりしている。新鮮で安全な食材を使用するため、最低2日に1回は買い物している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 入り口に手作りの案内板を掲示し、看板も手作りしている。玄関にはベンチやプランターを置き、玄関先には花を生けたりして、明るい雰囲気になるようにしている。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 料理の出来る匂い、心地よい音楽、鍋料理やバーベキュー、季節の花など、五感や季節感を意識的に取り入れる工夫をしている。日差しの強いところには、簾をしている。 (外部評価) 居間にソファが設置され、七夕飾りや各所に季節の花が飾られていた。中庭には季節の花々が植えられており、心和む空間となっていた。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 玄関やリビング、ウッドデッキなどに椅子やソファ、小さなテーブルなどを置き絵画や花など装飾し居心地の良い空間を工夫している。		ベンチやソファ、テーブルなどまだ不十分で追加検討中。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			箆笥やソファ以外にも、それぞれの利用者の好みや馴染みのものなどを生活スタイルに合わせて用意して、利用者の居心地のよさに配慮している。		
			(外部評価)		
			ご家族の写真や馴染みのタンス、パソコン等を持ち込まれている方もあった。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく、換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			一定の時間に換気をしており、冷暖房は常温の+ - 5を基本に利用者の様子に注意して調整するようにしている。トイレはこまめに清掃し換気扇と消臭剤で悪臭が出ないように工夫している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			利用者の状態に合わせて、手すりや浴室、トイレ、廊下などの住居環境が適しているかを見直し、安全確保と自立への配慮をしている。		今後もお一人で一人の状態に合わせて、わずかな段差や家具の配置など生活空間で転倒につながる原因がないかを常にチェックしていく。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			本人にとってできることできないことを把握し、状況にあわせて環境整備に努める。混乱や失敗が生じた場合、その都度スタッフで話し合い不安を取り除きできるだけ自立して暮らせるよう表示や矢印、目印等工夫している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			庭に花や野菜を植えて利用者が楽しめるよう環境作りをしている。玄関先やくつろげるところにベンチを置いて涼んだり日向ぼっこできるよう工夫している。ウッドデッキも中庭に設置し活用している。重度化した利用者も外気浴を楽しめるよう配慮している。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	出来る限り利用者の思いや願い、暮らし方の意向を汲んでいるが充分とはいえない。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある ② 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	業務に追われがちだが、ゆったりと過ごす必要性を意識し、その場面を作っている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	生活暦や習慣を重視し一人一人の個性を活かし、思いや願いを聞きながら暮らせるよう配慮している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ほぼ全ての利用者において日常生活のどこかでは生き生きした表情や、笑顔が見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ほぼ全ての利用者において行きたいところの希望を聞いているが、希望は数件でスタッフ側が選んで出かけている状態である。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	スタッフ全員で利用者が安全で安心して暮らしていただけるよう、健康チェックや把握、早期発見に努めている。必要時には医師の指示を受けて対処している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	要望があっても必要性があれば、出来る限り添えるようにしている。(ドライブ・買い物・外気浴・食事場所・メニュー)
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族とのコミュニケーションを心がけているが、全ての要望には応えられていない。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	元入居者のご家族や近くの教会の方の訪問がある。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) 1 大いに増えている ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	地区会等に参加させてもらい、情報交換や協力をいただいている。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) 1 ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	業務内容がハードでゆとりがないときなど、生き生きとは言えないが、努力している。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の重度化によりケアに手がとられ、満足とは言えないケースがある。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) 1 ほぼ全ての家族等が ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	おおむね満足と思われるが、全ての利用者が満足することは難しい。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

「お一人お一人を大切に和と穏やかさを大切に」という理念の基、日々お世話させていただいています。ホームは静かな住宅地にある平屋作りのグループホームで、併設のデイサービスとは廊下を経て繋がっており利用者様同士の行き来が自由で、開放感があります。趣味や行事など一緒に活動することもあります。中庭では花や野菜作りをし、去年はウッドデッキが出来上がりパーベキューや外気浴も楽しめるようになりました。日々お一人お一人を重視し、最善なるケアに努めさせていただいております。